

◆
国内のタイヤ生産主力工場で導入完了**新城工場にクリーン燃料のコージェネレーションシステム導入**

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、地球温暖化対策のひとつとして、タイヤ生産の主力工場である新城工場（愛知県新城市）に、液化天然ガス（LNG）を利用した発電端出力7,230kWのコージェネレーション（熱電併給）システムを導入、今年1月より稼働させた。

横浜ゴムは、昨年5月にスタートした新中期経営計画「グランドデザイン100（GD100）」の基本方針のひとつに「トップレベルの環境貢献企業になる」ことを宣言し行動を開始した。地球温暖化対策活動では、国内での総温室効果ガス排出量を2006年度は基準年比8%削減、2010年までに基準年比12%以上削減することを目標に掲げ取り組みを進めてきた。すでに平塚製造所、三島工場、三重工場にクリーン燃料のコージェネレーションシステムを導入済みで、今回の新城工場への導入により国内タイヤ生産の主力工場での導入が完了した。これにより、国内での総温室効果ガス排出量は2006年度年間削減目標（基準年比8%削減）の達成が可能となった。

新城工場では、コージェネレーションシステム稼働後のCO₂排出量は、導入前に比べ22%の削減を計画している。ガスタービン発電設備には吸気冷却装置を、排ガスボイラーには追焚装置を採用し、最大発電効率33%、最大総合効率87%を見込む。システム導入に当たっては、「ESCO事業」方式を採用し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「平成18年度エネルギー使用合理化事業者支援事業」に採択されている。

なお、横浜ゴムは昨年12月、横浜ゴムグループで取り組む環境貢献活動のスローガンを「eco MOTION」と名付け、環境貢献活動を推進している。当社は、地球温暖化対策を含む環境活動を「経営の最重要課題のひとつ」と位置づけ、引き続き海外を含めた地球規模での環境保全活動に努めていく。



新城工場に導入したコージェネレーションシステム

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江
TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430